

<共同発表> 宮崎公立大学×宮崎日日新聞社

## 大学教育とNIE —情報消費者から情報生産者へ

発表者 四方由美・倉真一、宮崎日日新聞社

### 1 はじめに

大学は「勉強」ではなく「学問」、正解のある問いではなく自ら問いを立てその問いに答える「研究」を行う場である。宮崎公立大学ではNIEを通して情報を効率よく活用する情報消費者というだけではなく、自ら新しい情報を生産する“情報生産者”（上野千鶴子2018）になることを目指している。

本公開講座では、宮崎公立大学人文学部国際文化学科の開講科目「時事問題ガイド」（宮崎日日新聞社）の講義における実践事例を公開することを通して、大学教育とNIEについての議論および提案を提供したい。

### 2 「時事問題ガイド」—カリキュラムにおける位置づけ

#### (1) 導入の経緯

宮崎公立大学では、2015年に宮崎公立大学と宮崎日日新聞社が結んだ「包括的連携協定に関する協定書」に基づき、2016年度より現代教養科目群の1つである社会科学分野の選択必修科目として「時事問題ガイド」を開講している。

宮崎公立大学の教養課程は、「現代教養科目群」と「グローバル人材養成プログラム」で構成されているが、現代教養科目群はグローバル時代に必要な教養を習得するため6つの分野を配置している。「時事問題ガイド」は社会科学分野に位置づけられる。1年次後期開講、全15回（卒業要件単位2単位）の科目である。

<b>人文学分野</b> ■日本語表現法 ■芸術と生活 ■教養フランス語	<b>社会科学分野</b> ■子育てと福祉 ■日本国憲法入門 ■時事問題ガイド	<b>自然科学分野</b> ■環境とエネルギー ■自然科学入門 ■自然災害と防災・減災
<b>現代教養講座</b> MMUで学ぶ意義や 有意義な学生生活の 過ごし方を学ぶ	<b>スポーツ健康分野</b> ■スポーツ・ 健康科学実習 ■生涯スポーツ実践等	<b>キャリア教育分野</b> ■キャリア設計Ⅰ・Ⅱ ■インターンシップ論等

<現代教養科目群6つの分野>

#### (2) 講義の目的

学生が新聞を読み、時事問題への理解を深めることを目的としている。インターネットを通じてニュースを知ることが増えるなか、新聞は信頼できる情報源であり社会人として役立つメディアであると同時に、地方紙が担う「権力の監視と地域コミュニティの一員という役割」についても受講生に伝える機会となる。

また、新聞が伝えるニュースを通して地域の課題を幅広く学ぶことにより、進む専攻や、地域活動、卒業後の進路、キャリア設計などを考える上で役立ててもらいたいことも含意している。

#### (3) 講義形態と特色

対面講義形式。宮崎県の政治、経済の動きやスポーツ、教育、文化などについて、宮崎日日新聞社の各部長、編集委員、記者らが各回リレー形式で解説を行っている。受講生の意見や感想を宮崎日日新聞紙面で掲載することにより、大学におけるNIEの取り組みを広く県民・読者に紹介している。実際に記事を作成した記者から学ぶことができることや、学生からのフィードバックを紙面で行うことは、この科目の特色といえる。

### 3 本公開講座の概要

#### (1) 講座の構成

講義担当者、講義受講生の双方から、「時事問題ガイド」の経験についてシンポジウム形式で発言してもらい、本講義が大学教育にとってどのような「場」となっているのかを紹介する。また、受講生に行ったアンケート調査の分析から、教育効果について考察する。

#### (2) 講義担当者（宮崎日日新聞社）

大山俊郎運動部長、奈須貴芳報道部次長より、講義にあたってどのような準備をしたか、受講生にどのようなことを伝えたか、受講生からのフィードバックなどについてプレゼンテーションを行う。

#### (3) 令和3年度受講生へのアンケート

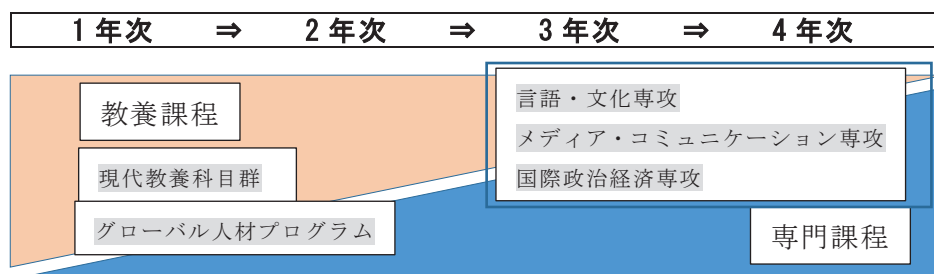
「時事問題ガイド」の受講前と受講後を比較する2回のアンケート調査を実施した（令和3年10月、令和4年1月）。調査項目は「希望する専攻（1、2年生）／所属する専攻（3年生以上）」「卒業後の進路」「新聞を読む頻度」「新聞記事に触れる機会」「よく読む紙面について」、他。回答数57名、50名。アンケート結果の分析を発表する。

#### (4) 受講生・卒業生

現役の学生である橋本実咲さん（2年生）には「時事問題ガイド」の講義を受けてどのような知見を得たか、学んだことを学生生活に生かしているか、専攻や進路の選択に参考になっているかなど、率直な意見を発表してもらおう。

卒業生の田中亮佑さん（共同通信社千葉支局勤務）には、学んだことが職業選択や、記者になってからのキャリア形成にどのような影響を与えたか、学生時代～現在を語ってもらおう。

#### (5) カリキュラム展開



#### <学修プロセスのイメージ>

学生は、1年次の授業を通して自分の興味や適性を知り、2年次には専攻の選択を開始、3年次に専攻を決定し専門課程に進む。教養課程現代教養科目群「時事問題ガイド」の学びが専門課程において展開する過程を説明する。

#### (6) 課題と展望

導入から7年目を迎えた宮崎公立大学におけるNIEの取り組みの課題について整理を行う。また、登壇者と会場の皆様で大学教育におけるNIEについて議論し、これからの展望する。

※上野千鶴子『情報生産者になる』ちくま新書、2018年